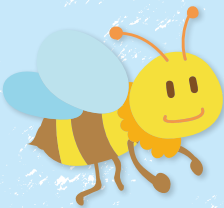
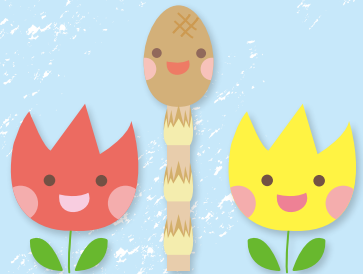


この本
よんだよ
どの本
よもうか

読んであげたい5歳からのえほん



袋井市立図書館



も く じ



おはなしのえほん…………… 2

かがくのえほん…………… 6

むかしばなしのえほん…………… 8

ことばのえほん…………… 10

^し
字のないえほん…………… 11

ちょっとながいおはなし…………… 12



この冊子の使い方

- 種類別、書名順に紹介しています。
- 対象年齢はあくまでも目安です。
- 「シリーズあり」と表記されているものは、シリーズの本があります。



本を読んだら、「よんだしるし」の
ところに色をぬってね。



おはなしのえほん

物語の絵本です。子どもたちは、絵本の中に入り込んで、主人公と一緒に
おはなしの世界を楽しめます。



『おさとぼうしうり』



エズフィール・スロボドキーナ／さく・え
まつおかきょうこ／やく 福音館書店

ぼうしうりは頭の上にぼうしをたくさん重ねて売り歩
いていました。ある日、昼寝から起きると大事な帽子が
ありません。木の上には帽子をかぶったたくさんの猿。
ぼうしうりは猿からぼうしを取り戻せるのでしょうか。
ぼうしうりとさるのやり取りが痛快的な絵本です。



『かじってみたいな、お月さま』



フランク・アッシュ／えとぶん
山口文生／やく 評論社

くまくんは、お月さまをかじってみたいなと思い、ロ
ケットを作って月へ出発しました。くまくんが目を覚ま
すと、そこは一面の銀世界。月に到着したと思つたくま
くんがかじったものは何でしょう。くまくんの純粋な想
いが伝わる絵本です。

※シリーズあり



『くまのビーディーくん』



ドン＝フリーマン／さく まつおかきょうこ／やく
偕成社

ビーディー君は、セイヤー君が持っているゼンマイ仕
掛けのくまのおもちゃです。ある日、ビーディー君は家
出をして、ほらあなで暮らしはじめます。すると、突然
動けなくなって…。白黒の版画で描いた絵は素朴で、
おもちゃと男の子の友情に心あたります。



『くんちゃんのだいいりょこう』



ドロシー・マリノ／文 絵 石井桃子／訳
岩波書店

子ぐまのくんちゃんは、渡り鳥のまねをして南の国へ出発します。しかし、双眼鏡やつりざおなど何度も忘れ物を取りに帰るうちに、眠くなってしまいます。くんちゃんの無邪気な行動をやさしく見守る両親も素敵で、絵もあたたかみが感じられます。

※シリーズあり



『ちいさいおうち』



ばーじにあ・りー・ばーとん／ぶんとうえ
いしいももこ／やく 岩波書店

むかしむかし、田舎の静かなところにちいさいおうちがありました。月日がたち、ちいさいおうちのまわりには、大きなビルが立ち並び、おひさまもお月さまもみえなくなっていました…。美しい文章と細部まで描かれた絵を堪能できます。



『歯いしゃのチュー先生』



ウィリアム・スタイグ／ぶんとうえ
うつみまお／やく 評論社

ネズミのチュー先生はうでききの歯医者です。色々な動物の歯を治療しますが、ネコやキツネなどの危険な動物はおことわりです。ある日、歯が痛むキツネが泣きながらやってきました。チュー先生は無事治療できたのでしょうか。やわらかなタッチの絵も魅力的です。

『はじめてのおつかい』



筒井頼子／さく 林明子／え 福音館書店

5歳のみいちゃんは、生まれてはじめておつかいを頼まれました。でも、転んでお金を落としてしまったり、緊張して大きな声が出せなかったり…。生き生きとした絵で描かれ、女の子の心の動きに子どもたちも自分の体験と重ね合わせることでしょう。

『はなのすきなうし』



マンロー・リーフ／おはなし ロバート・ローソン／え
光吉夏弥／やく 岩波書店

スペインの牧場でのんびり暮らすフェルジナンドは花が大好き。しかし、ある日牛飼いの男たちに勇敢な牛と勘違いされ、大闘牛場に連れて行かれてしまいます。フェルジナンドは闘うことができるのでしょうか。いきいきと描かれたモノクロの絵もお話に合っています。

『ママ、ママ、おなかがいたいよ』



レミイ・シャーリップ／さく・え バートン・サブリー／さく
つぼいいくみ／やく 福音館書店

帽子を探しているお母さんに、ぼうやが「おなかが痛いよ。お医者さんよんで」と叫びます。パンパンにふくらんだぼうやのおなかの中から出てきたものは、クツや帽子、鳥かごに自転車…。奇想天外なお話が、シンプルな影絵で描かれています。

『ラチとらいおん』



マレーク・ペロニカ／ぶん・え
とくながやすもと／やく 福音館書店

ラチは世界で一番弱虫な男の子。ある朝、突然現れた小さな赤いライオンと、相撲をとったり体操をしたりしているうちに少しずつ強くなっていきます。ある日、ラチは困っている友達を見かけて…。ラチと一緒に子どもたちも成長することでしょう。

そのほかのおすすめえほん

書 名 (50音順)	著 者	出版社
あくたれラルフ	ジャック・ガントス／さく ニコール・ルーベル／え いしいもこ／やく	童話館出版
あたしもびょうきに なりたいな!	フ란ツ＝ブランデンベルク／さく アリキ＝ブランデンベルク／え ふくもとゆみこ／やく	偕成社
おいしいのぼうけん	ふるたたるひ／さく たばたせいいち／画	童心社
おちゃのじかんにきた とら	ジュディス・カー／作 晴海耕平／訳	童話館出版
おまたせクッキー	パット＝ハッチンス／さく 乾 侑美子／やく	偕成社
かさどろぼう	シビル・ウェッタシンハ／作・絵 いのくまようこ／訳	福武書店 (現在は徳間書店)
ガブリエリザちゃん	H・A・レイ／作 今江祥智／訳	文化出版局
キャベツくん	長 新太／文 絵	文研出版
げんきなマドレーヌ	ルドウィッヒ・ベームエルマンズ／作・画 瀬田貞二／訳	福音館書店
じごくのそうべえ	田島 征彦／作	童心社
ねえ、どれがいい?	ジョン・バーニンガム／さく まつかわまゆみ／やく	評論社
ペレのあたらしいふく	エルサ・ベスコフ／さく・え おのでらゆりこ／やく	福音館書店
まいごになった おにんぎょう	A.アーディゾーニ／文 E.アーディゾーニ／絵 石井桃子／訳	岩波書店
よかったねネッドくん	レミー・シャーリップ／さく やぎたよしこ／やく	偕成社
よるのびょういん	谷川俊太郎／作 長野重一／写真	福音館書店

かがくのえほん

身近な物事を子どもたちにわかりやすく、また興味を持つよう描かれています。読み終わったら、実際にやってみたくなる絵本もあります。



『おなら』

長新太／さく 福音館書店



「おならってどうして出るの？」この本は、そんな疑問に答えてくれる本です。わかりやすく絵もとてもゆかいです。おならが出た後で、お子さんと顔を見あわせて笑ってしまうかもしれません。見返しのおならの音の一覧もおもしろい。



『かみひこうき』

小林実／ぶん 林明子／え
福音館書店



とがったひこうきやつばさの広いひこうきは、どんな飛び方をするのでしょうか。重ねて飛ばしてみたら？高いところから飛ばしてみたら？いろいろなかたちのかみひこうきを折って、どんな飛び方をするのか確かめてみたくなる絵本です。



『ふゆめがっしょうだん』

富成忠夫／写真 茂木透／写真
長新太／文 福音館書店



冬の木の芽を拡大した写真絵本です。よく見るとウサギやコアラの顔、帽子をかぶったこどもの顔などいろいろな顔に見えてきます。リズムカルな詩と表情豊かな春を待つ木の芽が楽しめます。冬の木の芽をじっくり観察したくなるでしょう。



『ぼく、だんごむし』

得田之久／ぶん たかはしきよし／え
福音館書店



子どもたちに人気のだんごむしの生態が、シンプルな切り絵でわかりやすく描かれています。「だんごむしはエビの仲間」「コンクリートも食べる」など大人でも知らないことが書かれています。読みおわたたら、庭に出て、だんごむしを探したくなるでしょう。



『わたし』

谷川俊太郎／ぶん 長新太／え
福音館書店



「わたし」はお母さんからみると「むすめ」。おばあちゃんからみると「まご」。犬からみると「人間」。私はひとりしかいないのに、いろいろな呼び名があることが分かる哲学的な絵本です。平易な文章と親しみやすい絵で、わかりやすく書かれています。

そのほかのおすすめえほん

書 名 (50 音順)	著 者	出版社
およぐ	なかのひろたか／さく	福音館書店
かさぶたくん	やぎゅうげんいちろう／さく	福音館書店
かぶとむしはどこ？	松岡達英／さく	福音館書店
こいぬがうまれるよ	ジョアンナ・コール／文 ジェローム・ウェクスラー／写真 つばいいくみ／訳	福音館書店
こっぷ	谷川俊太郎／文 今村昌昭／写真 日下弘／AD	福音館書店
ざりがに	吉崎正巳／ぶん・え 須甲鉄也／監修	福音館書店
たんぽぽ	平山和子／ぶん・え 北村四郎／監修	福音館書店
ちのはなし	堀内誠一／ぶんとえ	福音館書店
はなのあなのはなし	やぎゅうげんいちろう／さく	福音館書店
ピーナッツなんきんまめらっかせい	こうやすすむ／文 中島睦子／絵	福音館書店
ぼくのぱんわたしのぱん	神沢利子／ぶん 林明子／え	福音館書店
ぼくはそうだ	五味太郎／作	絵本館
ほね	堀内誠一／さく	福音館書店
みかん	中島睦子／作 こうやすすむ／監修	福音館書店
やぶかのはなし	栗原毅／ぶん 長新太／え	福音館書店
リボンのかたちのふゆのせいざオリオン	八板康麿／写真と文 杉浦範茂／絵と構成	福音館書店

むかしばなしのえほん

絵本がなかった時代から、長い間語り継がれてきた昔話には、子どもの心を深くとらえるものが数多くあります。

『アナンシと6びきのむすこ』(アフリカ民話より)



ジェラルド・マクダーモット／さく
しろたのぼる／やく ほるぷ出版

くものアナンシが魚やはやぶさからおどろかされ、おそろしい運命に立たされたところを6匹の息子たちに助け出されます。アナンシはきれいな玉をほうびにやろうとしますが、玉は一つしかありません。誰にやったらいいでしょう。色彩華麗で幾何学的な絵が魅力的。

『うまかたやまんば』(日本の昔話)



おざわとしお／再話 赤羽末吉／画
福音館書店

うまかたは山道でやまんばに会い、積み荷の魚すべてと馬を食われてしまいました。自分も食われそうになって一軒の家に隠れましたが、その家はやまんばの家でした。子どもたちは、はらはらどきどきしながらお話を楽しめます。

『ガラスめだまときんのつののヤギ』 (ベラルーシ民話)



田中かな子／訳 スズキコージ／画
福音館書店

ある日、おばあさんが大切に育てた麦を見に畑へ行くと、ヤギが麦を食べ散らかしていました。クマやオオカミが畑からヤギを追いつとしますが、出ていきません。ヤギを畑から追いつしたのは…。リズムよい繰り返しと迫力のある絵で子どもたちを引き付けます。



『パンのかけらとちいさなあくま』 (リトアニア民話)



内田莉沙子／再話 堀内誠一／画 福音館書店

貧乏なきこりのパンを盗んだ小さな悪魔は、大きな悪魔たちにこっぴどくしかられます。お詫びに沼を麦畑にかえましたが、やっと実った麦を意地悪な地主に全部取り上げられてしまいます。地主の行いを小さな悪魔がとんちで仕返しするところが痛快です。



『ふしぎなたいこ』(日本の昔話)



石井桃子／ぶん 清水崑／え
岩波書店

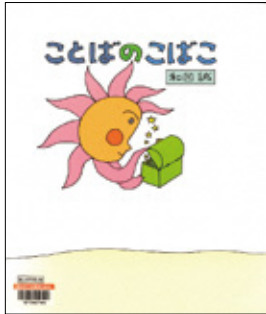
ふしぎなたいこを使って鼻を高くしたり低くしたりして人を喜ばせていた“げんごろうさん”。ある日どのくらい鼻がのびるかためしてみたくなりました。どんどんどこたいこをたたくとげんごろうさんの鼻はぐんぐん伸びていき…。他に2話収録。

そのほかのおすすめえほん

書 名 (50 音順)	著 者	出版社
うさぎのみみはなぜながい (メキシコ民話)	北川民次／ぶんとえ	福音館書店
おどろトラ (韓国・朝鮮の昔話)	金森襄作／再話 鄭珉香 (チョン・スクハン)／画	福音館書店
おなかのかわ	瀬田貞二／再話 村山知義／絵	福音館書店
かさじぞう	瀬田貞二／再話 赤羽末吉／画	福音館書店
かちかちやま	おざわとしお／再話 赤羽末吉／画	福音館書店
きこりとおおかみ (フランス民話)	山口智子／再話 堀内誠一／画	福音館書店
くわすにようぼう	稲田和子／再話 赤羽末吉／画	福音館書店
こぶじいさま	松居直／再話 赤羽末吉／画	福音館書店
さんまいのおふだ	水沢謙一／再話 梶山俊夫／画	福音館書店
したきりすずめ	石井桃子／再話 赤羽末吉／画	福音館書店
たなばた	君島久子／再話 初山滋／画	福音館書店
マーシャとくま	M・プラートフ／再話 E・ラチョフ／絵 うちだりさこ／訳	福音館書店
まほうつかいバーバ・ヤガー (ロシア民話)	松谷さやか／再話 ナタリー・パラン／絵	福音館書店
ももたろう	松居直／文 赤羽末吉／画	福音館書店
やまなしもぎ	平野直／再話 太田大八／画	福音館書店
王さまと九人のきょうだい (中国の民話)	君島久子／訳 赤羽末吉／絵	岩波書店

ことばのえほん

ことばあそび、なぞなぞの絵本です。お子さんと一緒に声に出して楽しんでください。



『ことばのこぼこ』

和田誠／さく・え
瑞雲舎



とまと、しんぶんしなど上から読んでも下から読んでも同じ言葉や、しりとり、かぞえうたなど18種類の言葉遊びがつまった本です。絵もユーモラスで親しみやすく、それぞれの言葉を補ってくれます。日本語って面白い!と思える絵本です。



『ままですすきですすてきです』

谷川俊太郎／ぶん タイガー立石／え
福音館書店



「たぬき、きつね、ねこ…」とはじまって最後のほうは少し奇妙なしりとりあそびの絵本です。すべての言葉が絵で描かれ、その絵を探すのがまた楽しみです。最後は「ん」で終わります。

そのほかのおすすめえほん

書 名 (50音順)	著 者	出版社
かえるがみえる	まつおかきょうこ／さく 馬場のぼる／絵	こぐま社
もけらもけら	山下洋輔／ぶん 元永定正／え 中辻悦子／構成	福音館書店
ことばあそびうた	谷川俊太郎／詩 瀬川康男／絵	福音館書店
なぞなぞえほん 1～3のまき	中川李枝子／さく 山脇百合子／え	福音館書店
なぞなぞ100このほん	M・プラートフ／採集 松谷さやか／編・訳 M・ミトゥーリチ／絵	福音館書店

じ 字のないえほん

文字がなく、絵だけで描かれた絵本です。自由にお話しながら楽しんでください。



『ふしぎなえ』

安野光雅／え 福音館書店



一見すると普通の絵ですが、よく見るとおかしい絵ばかり。家の壁を階段のように上ったり、階段を上がっても上がっても下に行ってしまうたり。不思議な世界を親子で楽しめる絵本です。



『やこうれっしゃ』

西村繁男／さく 福音館書店



夜行列車に乗り込み、目的地までお菓子を食べたり、トランプをしたりしてひと晩を過ごす人々の様子が、見開きいっぱいに隅々まで描かれています。絵からは、乗客の会話が聞こえてきそうです。電車好きな子にもおすすめです。

そのほかのおすすめえほん

書 名 (50 音順)	著 者	出版社
たびのえほん	安野光雅／著	福音館書店
雨、あめ	ピーター・スピアー／作	評論社
ABCの本	安野光雅／著	福音館書店

ちょっとながいおはなし

絵本の次に読んであげたい本です。毎日、少しずつ読んであげること
で、絵本から童話への橋渡しをスムーズにしてくれます。



『あおい目のこねこ』

ほんだしるし

E.Eゴン・マチーセン／作 せたていじ／やく 福音館書店

青い目の元気なこねこがねずみの国を探して旅立ちました。ほら穴を怖い目に遭いながら進んでいくと、黄色い目の猫たちに出会います。でも、違う目の色なので仲間に入れてもらえません。ある日、黄色い目の猫たちを脅かしていた犬を追い払おうとしたところ、偶然ねずみの国にたどりつき、そこでねずみをとってこねこはまるまると太ります。こねこはやせ細った黄色い目の猫たちを呼んで仲間になりました。

展開はスピーディーで判りやすく、ページ毎のシンプルな挿絵も生き生きとしていて、一気に読め進められます。



『いたずらでんしゃ』

ほんだしるし

ハーディー・グラマトキー／さく わたなべしお／やく 学研

スパークーは、空想好きで陽気な、街の人気者の電車です。時々空想のしすぎで、停留所を通り越したり、道で立ち往生したりしてしまいます。とうとう市長をカンカンに怒らせ、立ち食い食堂にされることになりました。しかもおぼけ屋敷の跡地にです。スパークーは、がっかりします。最後の運転の日、市長の壊れかけた車が、スパークーの友達ジミーくんをひきそうになります。間一髪でジミー君を助けたスパークーは、街の英雄になり、またお客さんをのせて走れるようになりました。愛らしいスパークーと一緒に、ハラハラドキドキできるお話です。



『いやいやえん』

ほんだしるし

中川李枝子／さく 大村百合子／え 福音館書店

しげるの通うチュリップ保育園には、投げないこと、ぶたないことなど約束が70もあります。約束を守れないしげるは、よく暗い物置に入れられます。ある朝、しげるは、服を着るのも「いやだよ」保育園に行くのも「いやだよ」とだだをこねました。先生から、いやいやえんを紹介され一日過ごすことになります。好きなことをしていいはずが、少しもおもしろくありません。やっぱり、チュリップ保育園が一番、と気付いたのでした。表題作「いやいやえん」など短いおはなしが全7編入っています。保育の中での出来事や遊びを子ども達が想像力豊かに楽しむ姿が生き生きと描かれています。



『エルマーのぼうけん』



ルース・スタイルス・ガネット／さく ルース・クリスマン・ガネット／え わたなべしげお／やく 福音館書店

エルマー少年は年寄り猫から、どうぶつ島で囚われの身となっているかわいそうなりゅうの子どもの話を聞いて助けに行きます。家を抜け出し、船に忍び込んで、どうぶつ島についたエルマーは、トラやサイ、ライオンなどの猛獣に会いますが、家から持ってきたチューインガムや歯ブラシ、リボンやくしを使ってピンチを切り抜け、ついにりゅうの子どもを助けます。聞き手は、知恵と勇気いっぱいエルマーになりきって冒険を楽しみます。

※シリーズあり



『王さまのアイスクリーム』



フランセス・ステリット／ぶん 土方重巳／え
光吉夏弥／やく 大日本図書

アイスクリームのなかった頃、気むずかしい王さまは寒い日には温かいクリームを、暑い日にはできるだけ冷たいクリームを毎日毎日召し上がっていました。ある暑い日、コック長は、どうしても冷たいクリームが作れませんでした。そんなとき、氷を売りに来たアドニス、コック長の娘ストロベリーが見つけます。氷を使って冷たいクリームを作ったコック長ですが、王様はさらに冷たいクリームを欲しがります。それに応えようとコックたちが知恵をしぼり、偶然にもアイスクリームができました。子どもたちが大好きな、アイスクリームののはじまりのお話です。

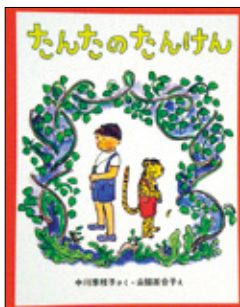


『おはようスーちゃん』



ジョーン・G・ロビンソン／作・絵 中川李枝子／訳
アリス館

土曜日の午後、お留守番のあいだにおでかけ中のママをびっくりさせようと、パパは水道の蛇口の修理と門のペンキの塗り替え、スーちゃんは花瓶敷きを作って花をテーブルに飾り、「ペンキぬりたて」の貼紙を書きました。そして、帰ってきたママが最高にびっくりしたのは、スーちゃんがもうお風呂を済ませ、パジャマを服の中に着込んでいたのを知ったときでした。「おるすばん」ほか、短いお話8話入りです。小さいスーちゃんは、優しいパパ・ママと一緒にまわりのものごとに優しくあたたく接します。幸せな結末に心温まります。



『たんたのたんけん』



中川李枝子／さく 山脇百合子／え 学研

たんたの誕生日に不思議な手紙が届きます。見ると探検の地図です。さっそく出発しようと、探検用の帽子やお菓子、望遠鏡を買い、途中であったへんなひょうの子バリヒとついに、地図をたどって探検に出发! キリンの松、牛のしっぽ川、わにの石、みつばち野原、ライオン山、そしてジャングルをとおりぬけて、たどりついたところはぶどうやつるでおおわれた、おばけのような家でした。誕生日に出合った夢のような探検のお話で、新しい発見、ドキドキ感がいっぱいです。

※シリーズあり



『どれみふぁけろけろ』



東君平／作・絵 あかね書房

たっくんは泳ぐのが苦手です。プールの日、池の前で「かえるになりたいなあ」とつぶやいたら、本当にかえるになってしまいました。かえるの学校に入り、音楽ではみんなのまねをして歌を歌い、泳ぎの勉強では先生の話を聞いて、泳げそうな気になりました。人間にもどったたっくんは、学校のプールでかえるの先生の言ったことを思い出し、「がんばります」と力強く誓ったのでした。かえる言葉は、リズムカルでユーモアがあり温かい気持ちになります。



『ロボット・カミイ』



ふるたたるひ／さく ほりうちせいいち／え
福音館書店

たけしとようこは空き箱で作ったロボットに“カミイ”と名付けました。一緒に幼稚園に行きますが、カミイは次々と問題を起こし、みんなの仲間に入れてもらえない、ひとりグループになってしまいます。そんなある日、野原に行く途中の子ども達の列にダンプカーが突っ込んできました。カミイはみんなを守ろうとダンプカーの前に飛び出し、べちゃんこに潰れてしまいます。たけしとようこがカミイをきれいに直すと、カミイはピカピカの鋼鉄製になって生き返り、ロボットの国へと帰って行きました。最後の場面では、ほろりとさせられます。

袋井市の図書館のご案内



▲詳しくは
こちらから

○袋井図書館

高尾町19-1 TEL.42-5325

●開館時間

火・金・土・日曜日 / 9:30~17:30
水・木曜日 / 9:30~19:00

●休館日

月曜日・館内整理日
年末年始・特別整理期間・3/31
*休館日は図書館カレンダーでご確認ください。

○月見の里学遊館図書館分室

上山梨4丁目3-7 TEL.49-3402

●開館時間

金~火曜日 / 9:00~17:30
水曜日 / 9:00~19:00

●休館日

木曜日・館内整理日
年末年始・特別整理期間・3/31
*休館日は図書館カレンダーでご確認ください。

○浅羽図書館

浅名976-1 TEL.23-6801

●開館時間

火・水・木・土・日曜日 / 9:30~17:30
金曜日 / 9:30~19:00

●休館日

月曜日・館内整理日
年末年始・特別整理期間・3/31
*休館日は図書館カレンダーでご確認ください。

おはなし会

図書館では、3歳くらいから小学校3年生向けに絵本の読み聞かせを行っています。申込みは不要です。直接、図書館までお越しください。

日程は「図書館ホームページ」でご確認ください。



▲詳しくは
こちらから

お子さんも、図書館の利用者カードが作れます

このリストでご紹介した絵本の他にも、図書館には楽しい絵本がたくさんあります。お子さんのお名前のカードで本が借りられますので、初めてカードを作られる方は住所・氏名・生年月日の確認できるもの（マイナンバーカード、健康保険証等）をお持ちのうえ、お近くの図書館へお越しください。

「ふくぶくつうちょう」で読書の思い出を記録しませんか？

預金通帳のように袋井市立図書館で借りている本の情報（本を借りた日、書名、著者名、本の金額）を図書館にある専用の機械で印刷、記録できます（高校生以下は無料）。お子さんと楽しんで絵本の記録を残しませんか。

